

事務事業名	街路樹等管理事業	事業期間	～	年度	係内番号	04
担当部署	都市建設部	都市計画課	都市計画係	連絡先	534	

計	政策番号	05	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高
				基本計画①	01	都市計画マスタープラン	0101	多様で豊かな自然環境、資源の保全・活用・継承		
				基本計画②	01	都市計画マスタープラン	0301	公園・緑地の整備方針		
				実行計画	05	緑の基本計画	0101	緑をまもる - 恵まれた自然を大切に、未来に伝えるまち-		

予 算 事 業 名	街路樹等管理費	会計コード	01	款	08	項	03	目	02	事業	01
-----------	---------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要  
(簡潔にわかりやすく)  
都市計画道路の街路樹、街路灯やその他付帯施設の維持管理を適切に行い、車両や歩行者の交通の安全と沿道の快適環境を確保します。

現 状 と 背 景  
( どう し て )  
街路樹について病害虫の発生は木を衰えさせ、木の根元の雑草は景観を害し、車道や歩道に張り出した枝は安全な通行の支障となります。また、街路灯の故障、施設の破損は、通行の安全性の低下となるとともに街の良好な環境を損ないますので、整備を行っていく必要があります。

目 的  
対 象 ( 誰 の た め に )  
車両及び歩行者  
対 象 ( 直 接 関 与 し け る )  
街路樹、街路灯、歩道施設等  
意 図 ( ど ん な 状 態 に し た い か )  
街路の維持管理を行い、都市計画道路を通行する人や車の安全性、快適性を高め、沿道の良好な生活環境を確保します。

手 段 ・ 方 法  
( どう や っ て )  
街路灯の補修、施設修繕、街路樹の剪定等専門的な業務は業者委託しています。草取り・草刈り・剪定等で可能なものは沿道の地元区に委託しており、他の枝落としや草取り・草刈り・灌水等は、職員が実施しています。

A	N	評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの		指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値		
				1	草取り、剪定作業実施	作業実施回数	回	年間の草取り、剪定作業実施回数 (1路線3回、計6路線)	18		
				2							
				3							
			変更履歴								
			成果指標	成果・効果は何？		指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値		
				1	街路樹の適正な維持管理を行う	草取り等管理	%	実施回数/目標回数×100	100		
				2							
				変更履歴							

実	施	状	内	訳	項 目	単 位	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度					
					事業費等 (a)		円	5,141,173	6,742,000							
					国庫支出金		円									
					県支出金		円									
					地方債		円									
					その他特定財源		円									
					一般財源		円	5,141,173	6,742,000							
					活	動	指	標	-	作業実施回数	目 標	18	18			
										実績	18					
										達成率	%	100.00	-	-	-	
目 標	-															
実績	-															
達成率	%	-	-	-						-						
成	果	指	標	-	草取り等管理	目 標	100	100								
					実績	100										
					達成率	%	100.00	-	-	-						
					目 標	100										
					実績	-										
					達成率	%	-	-	-	-						
備 考																

事務事業名	街路樹等管理事業	事業期間	~	年度	係内番号	04
担当部署	都市建設部	都市計画課	都市計画係	連絡先	534	

項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
中 評 価 課長評価日	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化				
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)				
	翌年度方向性	成果			
		コスト			

項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事後 評価 価値 ( C H E C K )	<p>～成果～</p> <p>変果</p> <p>動指</p> <p>要標</p> <p>因分</p> <p>～析～</p> <p>街路環境の維持管理には、継続的な地域の方々の協力と経費が必要である。また、観音通線については、電線地中化に伴う、道路改良によりプラタナスの撤去が決定しており、改良後の街路環境としての街路樹への注目は高まっている。</p>				
	<p>総合評価</p> <p>成果</p> <p>課題</p> <p>草取りと草刈および剪定については可能な限り沿道の地元区と委託業務契約を締結することで、地元のニーズを踏まえた街路樹の維持管理を行うことができた。また、観音通線については、街路樹選定委員会を立上げ地元ニーズに寄り添う形での街路樹の選定を準備し、街路環境を維持管理する上で、市民の方が街路樹に求めているニーズを理解する必要があります。そのために、管理者は地元と協議を行い、適切に管理することが求められる。</p>				
改革・改善の方向性(ACIT)	<p>翌々年度方向性</p> <p>成果</p> <p>コスト</p> <p>改革</p> <p>改善の方向性の内容</p> <p>策ひ容</p> <p>現状維持</p> <p>現状維持</p> <p>都市計画道路の維持管理については、交通機能はもとより歩行者の快適空間を確保するため、今後とも市が主体となって継続的に行っていく必要があります。専門的な工事・修繕等以外は、沿線地区の住民の方々のご協力をいただきながら環境整備を行う現在の方法が望ましいと考えます。</p>				

作成担当者	東城 昭紀				
最終評価責任者	岩崎 研二				
最終評価年月日	2019.5.17				